

(案)

## おおた健康プラン（第三次）計画期間の延長について

令和3年3月 大田区

### 1 計画期間延長の背景と目的

区は、これまで健康づくり施策を推進するために行ってきた取組の評価や健康を取り巻く状況の変化を踏まえるとともに、人生100年時代の到来も見据え、健康寿命の更なる延伸を図るため、平成31（2019）年3月、令和5（2023）年度までの5年間を計画期間とする「おおた健康プラン（第三次）」（以下、「プラン」という。）を策定しました。

その後、令和元（2019）年12月に発生した新型コロナウイルス感染症は全世界に拡大し、感染症拡大防止のために行われた様々な対策は、区民に生活様式の変化をもたらしました。

また、社会経済活動の停滞により区の歳入が大幅に減少するなど、区財政への影響が見込まれることから、区は事務事業の廃止や休止等、再構築の見直しを進めました。このため、プランに掲げる目標の達成や事業の進捗に遅れが出るなどの影響が生じる見込みとなりました。

このことを受け、区は、プランの計画期間を令和7（2025）年度まで延長し、新型コロナウイルス感染症対策とプランが掲げる健康づくり施策の両立を図り、目標である健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指すこととしました。

### 2 計画期間延長に伴う変更点（下線部参照）

※本編（概要版を含む）の変更については、本通知をもって読み替えます。

#### (1) 第1章 プラン策定にあたって（本編P3～P8）（概要版P2～3）

1

#### 策定の趣旨

区は、平成26年3月に、健康増進法に基づく「市町村健康増進計画」として「おおた健康プラン（第二次）（平成26年度～30年度）」（以下「第二次計画」という。）を策定し、「区民一人ひとりが生涯を通して、健康で生きがいを持ち、安心して充実した生活を送ります」を理念に、健康づくり施策を総合的に推進してきました。

第二次計画の取組を評価し、次期計画策定の基礎資料とするため、平成29年度に区民の健康に関する意識や習慣などについてアンケートを実施し、平成30年3月に報告書としてまとめたところです。

この間、区民の健康寿命は延伸し、各評価指標については概ね改善していますが、運動習慣のある人の割合など改善がみられない項目や、がん検診受診率など改善が不十分な項目もみられます。また、区民の主要死因をみると、がん、心疾患、脳血管疾患といった生活習慣病が多くなっています。

こうした課題を克服するには、健康無関心層への働きかけを含めた区民一人ひとりの主体的な健康づくりを促す環境を整備するとともに、民間団体や企業等と連携した地域全体の健康づくりを促進することが必要です。

医療の進歩などにより人生100年時代を迎えようとする中、生涯を通して健康で生きがいを持ち、安心して充実した生活を送ることができるよう、健康づくりの重要性は一層増しています。

区は、これまでの取組の評価や健康を取り巻く状況の変化を踏まえるとともに、人生100年時代の到来も見据え、健康寿命の更なる延伸を図るため、今後の健康政策の指針となる「おおた健康プラン（第三次）」を策定します。

## 5

## 総合指標

指標項目			現状値		目標値		出所
			数値	測定年度	数値	測定年度	
65歳 健康 寿命	男性	要支援1	80.67歳	H28年度	延伸 (*)	<u>R6年度</u>	東京都福 祉保健局 資料
		要介護2	82.22歳				
	女性	要支援1	82.30歳				
		要介護2	85.36歳				

(\*) 65歳平均余命の延伸分を上回る65歳健康寿命の延伸

## 6

## 計画期間

本計画の計画期間は、令和元（2019）年度から令和7（2025）年度までの7か年計画とします。

なお、計画期間中に社会環境の変化や法制度の変化などが生じた場合には、適宜必要な見直しを行うこととします。また、令和6（2024）年度には国の方針及び都の計画や評価を踏まえ、次期計画策定に向けた見直しを開始します。

## 8

## 計画の特徴

## (1) 区民一人ひとりの健康づくりを推進

子どもから高齢者まであらゆる世代の区民一人ひとりが、ライフステージに応じた健康づくりを行うため、「キラリ☆健康おおた(\*)」の考えのもと、様々な取組を実施します。

インセンティブ\*を活用した健康ポイント制度など、健康への関心が低い人も健康づくりを始めたいとなる仕組みづくり、楽しく続けられる仲間づくりの支援、日常生活の中で意識しなくても身体を動かしたくなるまちづくりを推進します。

(中略)

キラリ☆健康おおた

国が掲げる健康寿命延伸のための国民運動「スマート・ライフ・プロジェクト」に連動し、区は「キラリ☆健康おおた」として、4つのアクション（①適度な運動 ②適切な食事、③休養、④喫煙・飲酒のリスクの理解と行動）と健康診断・がん検診の受診を推奨します。

① 適度な運動	② 適切な食事	③ 休養	④ 喫煙・飲酒のリスクの理解と行動
例 毎日プラス 10分の運動	毎日プラス 一皿の野菜	十分な睡眠	受動喫煙に配慮する 飲酒は節度をもって
+			
健康診断・がん検診の受診			
定期的な受診し、自分のからだの状態を知る			

(\*) この他、本編及び概要版に記載しているプラン策定時の名称「(仮称) おおた健康プロジェクト」については、すべて「キラリ☆健康おおた」に読み替えるものとします。

## (2) 第3章 分野別対策、第5章 資料編

## 5 数値目標一覧

## 基本目標 1 「生涯を通じた健康づくりを推進します」

## ■ 施策 1 身体活動・運動（本編P30、P152）（概要版P6）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上している区民	34.2%	H29年度	44.0%	R6年度	健康に関するアンケート
この1年間に自主的な活動に参加したことがある区民	51.1%	H29年度	55.0%	R6年度	健康に関するアンケート
はねぴょん健康ポイント利用者数	—	—	50,000人 ※	R5年度	実績

※数値は令和5年度に再検証

## ■ 施策 2 喫煙・飲酒（本編P36、P152）（概要版P7）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
たばこを吸っている区民	16.1%	H29年度	12.0%	R6年度	健康に関するアンケート
妊婦の喫煙率	1.7%	H29年度	0%	R6年度	すこやか親子21*アンケート
受動喫煙を経験した者の割合	路上： 71.7%	H30年度 ※	減少	R6年度	健康に関するアンケート
	飲食店： 65.8%				

※H30年度は大田区区民意識調査

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
生活習慣病のリスクを高める量を超えた飲酒している区民	男性： 20.6%	H29年度	減少	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
	女性： 17.0%				

### ■施策3 がん対策（本編P41～42、P153）（概要版P8）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
75歳未満のがん死亡率（年齢調整） （人口10万対）	男性： 100.4	H28年度	減少	<u>R5年度</u>	がん検診精度管理評価事業
	女性： 67.3				
胃がん検診受診率	32.1%	H29年度	50.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
大腸がん検診受診率	33.6%	H29年度	50.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
肺がん検診受診率	27.1%	H29年度	50.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
子宮がん検診受診率	45.4%	H29年度	50.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
乳がん検診受診率	40.8%	H29年度	50.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
要精密検査者の受診率平均値 （区5がん）	89.7%	H27年度	92.0%	<u>R5年度</u>	実績
がんになっても地域で安心して暮らしていけると 思う人の割合	40.9%	H29年度	増加	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート

大田区が行っているがん検診の認知度	44.1%	H29年度	増加	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
-------------------	-------	-------	----	-------------	-------------

■ 施策 4 糖尿病・循環器疾患など生活習慣病の予防(本編P47、P153)  
(概要版P9)

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
男性の肥満 (40歳代、50歳代)	40歳代： 32.1% 50歳代： 34.6%	H29年度	減少	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
大田区国民健康保険特定健康診査受診率の向上	36.9%	H29年度	<u>43.0%</u>	<u>R5年度</u>	法定報告数値
大田区国民健康保険特定保健指導実施率の向上	11.0%	H29年度	<u>19.0%</u>	<u>R5年度</u>	法定報告数値
健康経営認定事業所数	—	—	150	<u>R7年度</u>	実績

■ 施策 5 歯と口腔の健康 (本編P52、P154) (概要版P10)

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
3歳児のむし歯のない子どもの割合	88.8%	H29年度	増加	<u>R6年度</u>	保健衛生事業資料集
12歳児の一人平均むし歯数	0.88本	H29年度	<u>0.70本</u>	<u>R6年度</u>	学校保健統計
進行した歯周病にかかっている人の割合	40歳： 63.1% 50歳： 66.2% 60歳： 71.1%	H29年度	減少	<u>R6年度</u>	成人歯科健康診査
咀嚼良好者の割合 (60歳代)	62.5%	H29年度	70.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート

口腔ケアが誤えん性肺炎*を予防することを知っている区民の割合	31.4%	H29年度	増加	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
--------------------------------	-------	-------	----	-------------	-------------

■施策6 親と子の健康づくり【大田区母子保健計画】(本編P61~62、P154) (概要版P11)

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
妊婦面接実施率	72.3%	H29年度	90.0%	<u>R6年度</u>	実績
すこやか赤ちゃん訪問実施率	96.0%	H29年度	100%	<u>R6年度</u>	実績
妊娠22週以降妊娠届出割合	0.85%	H29年度	減少	<u>R6年度</u>	母子保健事業報告
妊婦の喫煙率	1.7%	H29年度	0%	<u>R6年度</u>	すこやか親子21*アンケート
育てにくさを感じた時相談先を知っているなど解決する方法を知っている親の割合	1.6歳児： 79.7%	H29年度	増加	<u>R6年度</u>	すこやか親子21*アンケート
	3歳児： 83.9%				
午後10時までに就寝する子どもの割合	1.6歳児： 80.5%	H29年度	増加	<u>R6年度</u>	すこやか親子21*アンケート
	3歳児： 68.6%				
朝食を欠食する中学生の割合	6.6%	H29年度	減少	<u>R6年度</u>	中学1年生の食生活の実態調査
きずなメール(メール・LINE)の登録数	1,743件	H30年10月末現在	<u>12,000件</u>	<u>R6年度</u>	実績

■ 施策 7 食育の推進【大田区食育計画】(本編P69、P155)(概要版P12)

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
朝食を欠食する人の割合 (20歳以上、中学生)	20歳以上： 7.5%	H29年度	減少	R6年度	健康に関するアンケート
	中学生： 6.6%				中学1年生の食生活の実態調査
男性の肥満の割合	30歳代： 19.8%	H29年度	減少	R6年度	健康に関するアンケート
	40歳代： 32.1%				
適正体重を維持している20歳代女性の割合	77.7%	H29年度	増加	R6年度	健康に関するアンケート
高齢者のやせの割合	80歳以上： 13.7%	H29年度	減少	R6年度	健康に関するアンケート
食を大切に思う中学生の割合	90.0%	H29年度	増加	R6年度	中学1年生の食生活の実態調査
健康メニュー協力店数	25店舗	H29年度	58店舗	R6年度	実績

■ 施策 8 こころの健康づくりと自殺対策の推進  
【大田区自殺対策計画】(本編P82~83、P155)(概要版P13)

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
自殺死亡率 ※ 自殺死亡者数	15.0 106人	H27年	11.0以下 77人以下	R6年	警察庁統計
ストレスを感じている人の中で、何らかの方法でストレスを解消している人の割合	89.0%	H29年度	増加	R6年度	健康に関するアンケート



ゲートキーパー 基礎講座修了数 (累積)	基本型 817人	H29年度	基本型 <u>1,800人</u>	<u>R6年度</u>	実績
	出前型 0人	H29年度	出前型 <u>1,400人</u>	<u>R6年度</u>	実績
20歳未満の 自殺死亡率 ※	2.8	H27年	<u>2.0以下</u>	<u>R6年</u>	警察庁統計
80歳以上の 自殺死亡率 ※	22.9	H27年	<u>16.7以下</u>	<u>R6年</u>	警察庁統計

※自殺死亡率は人口10万対

## 基本目標 2 「健康に関する安全と安心を確保します」

### ■ 施策 1 感染症対策の強化（本編P92、P156）（概要版P14）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
結核り患率	17.8	H29年	<u>14.3</u>	<u>R4年</u>	東京都における 結核の概況
結核についての 正しい知識を持つ ている区民の割合 (2週間以上続く咳、 痰、息苦しさなどの 症状があること)	68.2%	H29年度	70.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
HIVの保健所での 無料検査の認知度	46.4%	H29年度	50.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
予防接種率の向上	MRワクチン* 1期93.6% 2期90.3%	H29年度	<u>97.0%</u>	<u>R6年度</u>	保健衛生事業資料集

### ■ 施策 2 災害時医療体制の整備（本編P98、P156）（概要版P15）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
緊急医療救護所 について知っている区民の割合	日本人： 16.2%	H29年度	日本人： 60.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
	外国人： 11.9%		外国人： 30.0%		

災害時看護職ボランティアの登録数	21名	H29年度	50名	<u>R6年度</u>	実績
------------------	-----	-------	-----	-------------	----

### ■ 施策 3 安全な生活環境の確保（本編P102、P156）（概要版P16）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
保健所メールの登録数	1,425件	H29年度	<u>2,800件</u>	<u>R7年度</u>	東京都への4半期報
肉の生食に注意している人の割合	59.0%	H29年度	75.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
ねずみの対策指導が有効と感じた人の割合	68.0%	H29年度	75.0%	<u>R7年度</u>	事業アンケート

### 基本目標 3 「医療や特別な支援を必要とする人が安心して暮らせるまちをつくります」

### ■ 施策 1 地域医療体制の充実（本編P109、P157）（概要版P17）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
在宅医療の制度や仕組みについて知っている区民の割合	—	H29年度	30.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
かかりつけ医がいる区民の割合	62.5%	H29年度	65.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
かかりつけ歯科医がいる区民の割合	67.5%	H29年度	70.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート
かかりつけ薬局がある区民の割合	48.3%	H29年度	52.0%	<u>R6年度</u>	健康に関するアンケート

## ■施策2 精神障がい者、難病患者、ひきこもりの方への支援（本編P113、P157）（概要版P18）

指標項目	現状値		目標値		出所
	数値	測定年度	数値	測定年度	
精神疾患で1年以上入院している区民※	465人	H29年度	減少	<b>R6年度</b>	地域精神保健医療福祉資源分析データベース「ReMHRA D」

※大田区に元住所のある患者の、全国の精神科病院への入院数

## 6 関連事業一覧

※変更のあった事業のみ掲載

### 基本目標1 「生涯を通じた健康づくりを推進します」

#### ■施策1 身体活動・運動（本編P29、P158～160）

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
2	<u>はねびょん健康ポイント事業</u>	健康ポイント事業の対象を18歳以上の一般区民に拡大し、区民が視覚的に健康づくりへの活動成果を確認でき、また、「健康ポイント」を集め、一定のポイントがたまれば、インセンティブ*と交換できるようにします。	健康づくり課 スポーツ推進課 国保年金課	○
4	新スポーツ健康ゾーン活性化事業	「大森ふるさとの浜辺公園」を中心に <u>整備を進めてきた新スポーツ健康ゾーンを活用して</u> 、誰もが気軽に体を動かし、健康維持増進につながる <u>取組を推進します。</u>	スポーツ推進課 都市基盤管理課	○
6	<u>「キラリ☆健康おおた」</u> の推進	「プラス10」毎日プラス10分身体を動かそう！を推進することで、日常生活のなかで階段の使用や職場などでのすき間時間を利用した体操を行ない、無理なく身体を動かします。	健康医療政策課 健康づくり課 スポーツ推進課	○
30	<u>健康支援公園の整備推進(いきいき健康公園づくり)</u>	区民の身近な場所にある公園の新設、改良、施設拡充などの機会を捉えて、健康づくりに役立つ健康運動遊具や健康器具を設置した公園を整備します。	都市基盤管理課 <u>建設工事課</u>	
31	指定管理者自主事業	平和島公園・東調布公園・萩中公園の各水泳場の指定管理者が、区民の健康づくりに向け事業を実施します。 【実施事業 <u>抜粋</u> 】	道路公園課	

		シニア水中運動・シニア体力向上(スタジオ)・健康づくり体操・はつらつ水泳・ストレッチ & 水中ウォーキング・アクアビクス教室など(実施事業は各水泳場で異なります。)		
	<u>東邦大学との共同研究「人生100年時代を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」</u>	<u>東邦大学と共同で行政情報及び質問票調査を18特別出張所ごとに分析し、科学的根拠に基づいた健康づくり施策の立案に活用します。</u>	健康医療政策課	○

## ■施策2 喫煙・飲酒(本編P35、P161)

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
34	<u>受動喫煙防止対策及び禁煙支援等に係る</u> 区報・ホームページ・チラシ・パンフレットによる啓発	改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例に基づく受動喫煙防止対策を多様な媒体を活用し周知します。 区報に「世界禁煙デー」「受動喫煙防止PRステッカー」を掲載するほか、ホームページで「たばこ健康」について掲載します。また、加熱式たばこ等の情報提供も行います。	健康づくり課	○

## ■施策4 糖尿病・循環器疾患など生活習慣病の予防(本編P46、P164)

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
73	大田区国民健康保険特定健康診査受診率向上のための未受診者勧奨	特定健診未受診者に受診勧奨通知の送付や <u>医師会協力のもと、医師から直接受診勧奨を実施してもらうなど</u> 、受診率の向上に取り組みます。	国保年金課	

## ■施策6 親と子の健康づくり【大田区母子保健計画】(本編P166～172)

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
115	女性の健康専門相談	<u>※事業廃止</u>	健康づくり課	
155	発達障がい啓発パンフレットの作成、配布	発達障がいの正しい理解と啓発、及び適切な相談や支援につなげるため、幼児期版、小学生版、中学生・高校生版・一般用の四種類のパンフレットを作成、配布します。	<u>障がい者総合サポートセンター</u>	

156	こども発達センター わかばの家での 発達相談、子育て 相談	心身の発達に遅れや偏り、またその疑いのある乳幼児の相談や子育てについての心配や悩みの相談に応じます。	<u>障がい者総合サポートセンター</u>	
157	発達障がい シンポジウム	発達障がいに関して、区民が理解を深めるための一助とするほか、発達障がい者（児）に対する切れ目のない支援の実現に向け、地域全体で支える必要性について、区民とともに考える機会とするため、シンポジウムを開催します。	<u>障がい者総合サポートセンター</u>	
158	こども発達支援 講演会（こども 発達センター わかばの家）	心身の発達に遅れや偏り、またその疑いのある乳幼児の保護者や関係機関職員向けに、発達の理解や子育て、子どもとの関わり方等に関する講演会を行います。	<u>障がい者総合サポートセンター</u>	
159	発達支援応援フェア	発達支援についての事業や制度の情報（子育て、福祉、教育など）を一度に収集し、子どもにあったサービスを適切に選択できる機会として開催します。	<u>障がい者総合サポートセンター</u>	
165	子育て力向上支援 事業	子育てに悩みを抱えている親に対し「親支援プログラム」を行い、悩みの解消や仲間作りを支援します。	<u>子育て支援課</u>	

## ■施策 7 食育の推進【大田区食育計画】（本編P174～176）

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
201	青少年健全育成事業における食に関する体験活動（いも掘り、米づくり、飯ごう炊飯など）	農業体験、野外調理の直接的な体験を通して、自然の恵みや食に関する感謝の念や理解を深めるとともに、職を通じた世代間交流の場とします。	地域力推進課	
221	食育実践研究の実践と推進	小中学校の家庭科や体育（保健体育）、 <u>生活科</u> を専門とする教員、養護教諭、学校栄養職員、 <u>中学校理科教諭、中学校社会科教諭</u> を委員とした食育推進委員会を設置し、食育の推進のために授業研究に取り組みます。	指導課	

## ■ 施策 8 こころの健康づくりと自殺対策の推進 【大田区自殺対策計画】(本編P179)

No.	分野	事業名	事業内容	自殺対策(生きる支援)につながる取組	担当課	重点事業
247	子ども	(子育てに関する)日常相談	<u>児童館</u> 利用者からの相談に <u>応じる</u> <u>とともに</u> 、職員からも声かけを行います。必要に応じて、関係機関を紹介し、連携を <u>図ります</u> 。	利用者にとって身近な施設として、常に相談を受けられる体制を整えます。	子育て支援課	

### 基本目標 3 「医療や特別な支援を必要とする人が安心して暮らせるまちをつくります」

#### ■ 施策 1 地域医療体制の充実(本編P109、P190)

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
321	医療・福祉の連携	多職種間の連携強化、地域医療・在宅医療についてのスキルアップを目指し、医療や福祉関係者を対象とした研修について、支援します。 また、病院とかかりつけ医との関係強化の <u>ほか、在宅医療患者の情報を一元的に管理し、多職種間で情報を共有することを目的に、「在宅医療連携ノート」を作成し、配布</u> します。	健康医療政策課	○

#### ■ 施策 2 精神障がい者、難病患者、ひきこもりの方への支援(本編P191)

No.	事業名	事業内容	担当課	重点事業
337	難病講演会	<u>※事業廃止の為、今後は東京都が実施する難病に関する講演会を案内</u>	健康づくり課	

### 3 その他

新型コロナウイルス感染症対策への取組については、プランの基本目標2「健康に関する安全と安心を確保します」の施策1「感染症対策の強化」をはじめ、同感染症の拡大防止や少子高齢化への対応など、重点的な課題への対策を着実に推進するための計画として区が策定する「新おおた重点プログラム～ポストコロナ時代の暮らしを支える区政運営に向けて～」において進捗管理を行います。